

## 令和4年度 公益社団法人 川西市シルバー人材センター 事業報告

2022年の日本経済は、コロナ禍からの緩やかな持ち直しが続く一方で、ロシアによるウクライナ侵攻とそれに伴う世界的な食料・エネルギー価格の高騰や世界経済減速の影響を受け、景気回復は緩やかなものとなりました。

一方、社会情勢に目を転じれば、国内ではさらなる人口減少・少子高齢化が進行しており、労働力人口の不足や地域コミュニティの衰退等が加速している状況にあることから、国は、社会保障の支え手を増やす政策を推進しています。

その一つが、就労意欲のある高齢者が70歳まで働き続けられる機会を確保するための環境整備です。令和2年3月には、就業機会の確保を事業主の努力義務とする改正法が成立し、令和3年4月1日から施行されています。

これはシルバー人材センターにとって、会員確保の困難さがより一層増す要因となっており、シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）を取り巻く環境は、さらに厳しさを増しています。

このような厳しい情勢ではありますが、就労意欲のある高齢者が生き生きとした生活を送れるような生涯現役社会の実現に向け、高齢者の雇用と社会参加を促進するため、シルバー事業をさらに発展させ、地域の期待に十分こたえられるよう、シルバー人材センターの機能強化や求人先とのマッチング機能の強化など、働きやすい環境を整備することが肝要であり、シルバー事業の果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

川西市シルバー人材センターにおいては、昭和56年11月の設立後40数年が経過するとともに、その法的位置づけを一層明確にすべく平成24年4月に公益社団法人へ移行してからもすでに11年が経過しており、今日、その存在は地域社会にとってなくてはならないものとなっておりますが、その現状に決して甘んじることなく、なお一層の信頼が得られることを目指して、会員の拡大及び請負・派遣の受注先の開拓並びに安全就業の推進等に取り組みました。

具体的には、まず事業実績面として、新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せたことから、令和2年度以来、緊急事態宣言等の影響を大きく受けていた公共施設管理業務などが通常通りに戻ったこともあり、令和3年度に引き続き、回復傾向を示しました。

また、川西市から、防災意識啓発を目的として、70歳以上の高齢者と避難行動要支援者へ防災備蓄品（長期保存食品など）を配布する「高齢者等防災啓発事業」を受託したことで、受託事業の実績は457,355千円と過去にない大きなものになりました。

この結果、受託事業と派遣事業の合計では、受注件数は2,878件と前年度比3.7%の増になり、就業延人員は86,546人で3%の増、契約金額は554,627千円で、169,640千円の増（44%の増）になりました。

会員数については、令和3年度に引き続き年間で計3回の出張入会説明会を開催したことや、令和4年度から開始したゴールド会員制度の効果もあり、年度末の会員数は1,178名と前年比14人の増（1.2%増）になりました。

安全就業に関しては、令和2年度に発生した重篤事故を契機に交通事故や安全就業に関する啓発を重ねた結果、交通事故による傷害事故は発生しませんでした。また、傷害事故の件数（請負・派遣合計）は令和3年度から1件増となる3件（全て「つまずき・転倒」）でしたが、物損事故も合わせた事故総数としては、令和3年度の7件から4件にほぼ半減しました。

令和5年度は、交通事故だけでなく「つまずき・転倒」事故の防止や会員の健康維持・増進にも取り組みながら、就業開拓等に努めてまいります。

令和4年度の主な事業の取り組み状況は、次のとおりです。

## 1. 会員の確保と拡充

- (1) 高齢者の就業相談を実施するとともに、会員の就業相談会を2回実施したものの、参加者はいませんでした。
  - ・令和4年7月22日開催
  - ・令和5年2月17日開催
- (2) 新規会員加入の入会説明会を、年間延べ59回開催しました。
- (3) 出張入会説明会を3回開催し、計79人が参加しました。開催にあたっては、事前に市内全戸へのPRチラシを配布しました。
  - ・アステホール（8月31日開催） 24名参加
  - ・アステホール（1月20日開催） 32名参加
  - ・緑台公民館（1月23日開催） 23名参加
- (4) 令和4年5月にゴールド会員制度を開始し、令和4年度は4名の会員がゴールド会員に移行しました。

## 2. 就業機会の開拓と拡大

### (1) 職群別事業実績（受託事業）

区 分 \ 事 項		受注件数 (件)	就 業 延 べ 人 員 (人日)	事 業 収 入 額 (円)
職 群 別	技 術 群	4	134	667,928
	技 能 群	1,079	3,051	41,213,607
	事 務 整 理 群	94	811	2,834,842

内 訳	管 理 群	39	9,921	40,967,552
	一 般 作 業 群	1,488	47,091	198,878,664
	サ ー ビ ス 群	96	6,665	30,468,400
	小 計	2,800	67,673	315,030,993
高齢者等防災啓発事業		3	410	142,324,824
合 計		2,803	68,083	457,355,817

(2) 職群別事業実績（派遣事業）

事 項		受注件数（件）	就 業 延 べ 人 員（人日）
区 分			
職 群 別 内 訳	技 術	3	769
	事 務	4	273
	サ ー ビ ス	28	7,386
	生 産 工 程	4	570
	清 掃 等	36	9,465
	合 計	75	18,463

（手数料等）

（単位：円）

センター手数料	賃金等（兵シ協）	合 計
8,758,200	88,513,901	97,272,101

注：受託事業 457,355,817 円 + 派遣事業 97,272,101 円 = 合計 554,627,918 円

- (3) 川西市から「高齢者等防災啓発事業」業務を受託し、収入額は142,324千円でした。
- (4) 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」として、シルバー派遣事業及び就業開拓等に取り組みました。
- (5) 独自事業では、パソコン訪問事業及び墓清掃事業を実施し、収入額は157,920円でした。

3. 安全および適正就業の推進と徹底

- (1) 7月の「安全就業強化月間」に基づき、安全委員会による就業現場の巡回視察を令和4年7月1日に実施しました。また、安全就業推進員による安全パトロールを定期的に実施し、会員の就業に応じた安全意識の向上に努めました。
- (2) 会員の安全就業に対する意識の高揚を図るため、令和4年4月に「安全標語」の募集を実施し、下表の作品が選定されました。

標語作品	最優秀賞	安全は 日頃の声かけ 心がけ
	優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全は 止める勇気と 待つ余裕</li> <li>・気のゆるみ その一瞬が 事故のもと</li> <li>・一呼吸 気持の余裕が 事故防ぐ</li> <li>・このくらい 思う気持ちが ケガを呼ぶ</li> </ul>

(3) 会員の就業に必要な安全講習会を実施しました。

開催日	講習名	参加者	場所
令和4年10月19日	救命救急	13名	シルバー人材センター会議室
令和5年2月15日	交通安全	21名	シルバー人材センター会議室

(4) 兵庫県シルバー人材センター協会と連携して、令和4年6月に「刈払機取扱業務安全衛生教育」を尼崎教習センターコベルコ教習所で実施し、12名が参加しました。

(5) 会員の健康維持・増進等を目的として、令和5年3月に健康講演会をキセラ川西プラザ キセラホール大会議室で開催し、会員及び関係団体役職員等44人が参加しました。

#### 4. 組織体制（会員・事務局）の活性化と強化

##### 【会員の体制】

- (1) 職群班活動等をとおして、「自主・自立、共働・共助」への意識向上を図りました。
- (2) 会員の同好会活動により、会員相互の親睦が図られました。
- (3) 会員の知識や技能の向上を目的とした講習会等の他、高齢者が関心を抱く講習会を実施し、会員の技術力の向上等に努めました。

開催日	テーマ	講師	参加者	場所
令和4年9月27日 9月29日、10月4日	プラカゴ バック製作	谷口 加代子氏	30名	シルバー人材センター 会議室
令和4年10月3日	韓国料理	靱 香淑氏	15名	川西公民館 調理室
令和5年1月18日 2月1日	毛筆筆耕	会員 西富 依久子	32名	シルバー人材センター 会議室
令和5年3月14日	植木剪定	会員 田浦 豊昭	3名	湯山台運動公園

- (4) センターの普及啓発活動の一環として、(一社) 全国古民家再生協会との共催により、令和4年10月に「木造住宅簡易鑑定士養成講座」を開催し、市民を含む15名が参加しました。
- (5) 会員と就業に関する分析や検討に伴う「意見交換」を行うなど、事業運営の活用に努めました。

開催日	職群・職班名	テーマ	参加者	場所
令和5年2月28日	家事援助サービスグループ	家事援助業務について意見交換	7名	シルバー人材センター 会議室
令和5年3月15日	配布班	配布業務について意見交換	13名	シルバー人材センター 会議室
令和5年3月28日	自転車駐輪場整理グループ	自転車整理業務について意見交換	14名	シルバー人材センター 会議室
令和5年3月31日	公民館管理グループ	公民館管理業務について意見交換	22名	シルバー人材センター 会議室

※ なお、都合により、植木剪定育成班、手刈除草班、機械刈除草班の意見交換につきましては、令和5年度に順延しました。

#### 【事務局の体制】

- (1) 平成28年度に策定した「中期計画」に掲げているチャレンジ項目等の達成に向け、計画促進のための進行管理に努めました。
- (2) 次期中期計画策定に向け、令和5年3月に「中期計画策定委員会」を開催しました。

#### 5. 積極的な広報・啓発活動の展開

- (1) ホームページに「センターだより」や各種情報を掲載するなど、事業拡大等への活用による情報発信を行い、事業の普及啓発に努めました。
- (2) 機関紙「センターだより」を年3回発行し、センターと会員との情報の共有や、安全就業への意識啓発等に取り組みました。

第155号	令和4年7月号を発行
第156号	令和4年11月号を発行
第157号	令和5年3月号を発行

- (3) 毎年10月に全国一斉で実施する「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」活動の一環として、令和4年10月14日にボランティア活動を行いました。会員16名が参加して川西能勢口駅前等を清掃し、センターのPR活動を実施しました。